



Mandala Idea

tensuna.com
Nobuaki Suzuki Arts



はじめに

第1章 スピリチュアル&内面的モチーフ

第2章 神秘図形&シンボル

第3章 自然界のモチーフ

第4章 文化・神話・宗教のモチーフ

第5章 動物・スピリットアニマル

第6章 感情・意図・願いのモチーフ

第7章 現代的&自由な発想のモチーフ

第8章 護符・守りのモチーフ

第9章 チャクラのモチーフ

おわりに





第1章：スピリチュアル&内面的モチーフ

曼荼羅アートは、自分の内側と深くつながるための強力なツールです。

この章では、「目に見えない世界」や「魂の声」に意識を向けたいときにぴったりのモチーフをご紹介します。

描きながら静かに呼吸を整え、自分の中心へと意識を戻していく…。

そんな瞑想的で神聖な時間を過ごすのに、これらのモチーフは力強いサポートになります。

● 第三の目(直感・覚醒)

眉間のあたりに位置すると言われる「第三の目」は、直感力・洞察力・霊的な覚醒を象徴します。見えないものを“感じる力”を高め、自分の本当の気持ちに気づかせてくれる存在です。

このモチーフを曼荼羅に込めることで、内なる声に気づきやすくなり、深い洞察を得られるかもしれません。

● クンダリーニ(エネルギーの上昇)

クンダリーニとは、背骨の根元に眠っている生命エネルギーのこと。

これが目覚め、背骨を通して上昇していく過程は、精神的成長や覚醒を象徴しています。

渦巻き状のエネルギーや、炎のように上に伸びるモチーフで表現すると、躍動的な曼荼羅が生まれます。

● ハイヤーセルフ(高次の自己)

「ハイヤーセルフ」とは、今の自分を見守り導く、より高次の自分自身のこと。

迷いがあるときや、自分の進む道を見つけたいとき、このモチーフは大きな助けになります。

光、羽根、星、透明な幾何学模様などを使って、神聖でやさしいエネルギーを表現するのもおすすめです。

● 魂のブループリント(生まれ持った計画)

「ブループリント」は、生まれる前に魂が描いた人生の設計図。

このモチーフは、自分の“本来の使命”や“魂レベルの目的”を思い出す手助けをしてくれます。

曼荼羅に描くことで、「私はなぜ生まれてきたのか？」という深い問いと向き合う時間になるかもしれません。

● 瞑想の光・内なる宇宙

瞑想中に感じる光のビジョンや、宇宙とつながるような感覚も、曼荼羅の大切なモチーフです。流れるような模様や星の粒、光の輪、宇宙空間のような広がりを描いてみてください。

自分の中にある「小さな宇宙」を表現することで、安心感や一体感が広がっていきます。





第2章：神秘図形&シンボル

曼荼羅アートの世界では、神聖幾何学や古代から伝わるシンボルが特別な存在感を放ちます。それらの図形は、見た目の美しさだけでなく、宇宙の法則や生命の構造そのものを象徴していると言われています。

描いているうちに不思議と心が整い、静けさや一体感が深まっていく…。そんな体験をもたらしてくれる、強力なモチーフたちです。

● フラワー・オブ・ライフ(生命の花)

円が何重にも重なりながら広がっていくこの神秘的な図形は、すべての生命の根源を表しています。

「調和」「創造」「再生」の象徴であり、見る人の心に深い安心感と美しさを与えてくれます。

曼荼羅の中心や背景に取り入れることで、全体のエネルギーを整える軸として機能します。

● ツリー・オブ・ライフ(生命の樹)

古代ユダヤのカバラ思想に基づく図形で、宇宙・魂・人生の成長プロセスを表現しています。上から下へと流れる“光の経路”は、私たちの意識が高次とつながっていることを象徴します。

曼荼羅に描くことで、人生の流れを信頼する力や自己成長の気づきが深まります。

● メタロンキューブ(宇宙の設計図)

正円と直線を組み合わせた幾何学図形で、宇宙の秩序やバランスを象徴しています。神聖幾何学のすべての形（立方体、四面体など）を内包し、「万物の構造」とも呼ばれます。

曼荼羅に使うことで、空間の浄化や保護のエネルギーを呼び込むとされ、スピリチュアルなワークにも人気のモチーフです。

● ヤントラ(神の座)

インドの伝統的な幾何学図形で、特定の神格やマントラと結びついた神聖なシンボルです。中心から外へ広がる構造は、宇宙のエネルギーを象徴し、瞑想や祈りの道具としても用いられています。

曼荼羅に取り入れると、集中力の向上や内なる平和の感覚を助けてくれるでしょう。

● トーラス・螺旋・インフィニティ・五芒星

- トーラス：エネルギーが中心から外へ、外から中心へ循環する構造。自己と宇宙の一体感を表します。

- 螺旋（スパイラル）：自然界に多く見られる形で、進化・成長・魂の旅路を象徴。

- インフィニティ（ ∞ ）：無限の可能性や永遠性を表すシンプルな形。流れるような曼荼羅にぴったり。

- 五芒星（ペンタグラム）：調和・保護・五元素**の象徴。魔法や神秘のイメージも強く、エネルギーを引き締めたいときに。

これらの図形を曼荼羅に組み込むと、普遍的なリズムや叡智とつながるような感覚が得られます。





第3章：自然界のモチーフ

自然界に存在するすべてのものは、リズム・循環・命の流れを持っています。

曼荼羅アートに自然のモチーフを取り入れることは、

自分自身と自然とのつながりを思い出すことでもあります。

風にゆれる花、空を流れる雲、夜空にきらめく星たち…。

それぞれのモチーフは、あなたの今の気持ちやテーマにやさしく寄り添ってくれるでしょう。

● 花(蓮、ひまわり、ダリア、桜、梅 など)

花は曼荼羅の中心やパターンにとてもよく使われる、定番の自然モチーフです。

- 蓮：泥の中から美しく咲くことから、浄化・魂の成長・悟りの象徴
- ひまわり：太陽のような明るさ、希望、エネルギー
- ダリア：華やかさと強さの両立、美しきバランス
- 桜：儚さ・今この瞬間の美しさ・再生
- 梅：厳しさの中にも香る生命力・忍耐・品格

どの花を選ぶかで、曼荼羅に込める意味が大きく変わります。

● 葉・木・森・山・大地

植物や山、大地といったモチーフは、安心感・グラウンディング・自然回帰を促してくれます。

- 葉：成長や季節の移り変わり、命の循環
- 木：根を張り、天へ伸びる存在。バランスと安定の象徴
- 森：多様性、包容力、癒しの場
- 山・大地：揺るぎない存在感、どっしりとした安定、母なる大地とのつながり

自分の足元を確かめたいとき、穏やかな気持ちになりたいときにおすすめです。

● 水(波・海・雨・雫)

水は感情、浄化、柔軟さ、流れの象徴です。

- 波・海：大きな感情のうねり、無意識の世界、包み込む力
- 雨・雫：涙、浄化、新しい始まり
- 泉・川：癒しの流れ、心のリズム、再生

曼荼羅の曲線やドットを使って水の流れを表現すると、とても優しく動きのある作品になります。

● 火・風・雪・雷

自然のエレメント（四大元素）として古くから使われてきたモチーフです。

- 火：情熱、変容、浄化、生命力の燃焼
- 風：自由、変化、気づき、直感
- 雪：静けさ、純粹さ、個性（雪の結晶は一つひとつ違う）
- 雷：目覚め、衝撃的な変化、エネルギーの集中

これらを取り入れることで、ダイナミックで力強い曼荼羅を描くことができます。





第3章：自然界のモチーフ

● 星・月・太陽・宇宙・惑星

夜空に広がる宇宙のモチーフは、私たちの心に「広がり」「希望」「神秘」を与えてくれます。

- 星：希望、願い、魂の光
- 月：感情のリズム、女性性、サイクル
- 太陽：生命の源、活力、明るさ、目覚め
- 惑星・宇宙：多角的な視点、広大な意識、宇宙とのつながり

曼荼羅に宇宙的なモチーフを使うと、スピリチュアルと自然の融合を感じさせる作品に仕上がります。

● 葉・木・森・山・大地

植物や山、大地といったモチーフは、安心感・グラウンディング・自然回帰を促してくれます。

- 葉：成長や季節の移り変わり、命の循環
- 木：根を張り、天へ伸びる存在。バランスと安定の象徴
- 森：多様性、包容力、癒しの場
- 山・大地：揺るぎない存在感、どっしりとした安定、母なる大地とのつながり

自分の足元を確かめたいとき、穏やかな気持ちになりたいときにおすすめです。





第4章：文化・神話・宗教のモチーフ

世界には、古くから神聖な図形やシンボルを使って祈りや精神性を表現してきた文化があります。

曼荼羅アートにそれらのモチーフを取り入れることで、

時代や場所を超えたエネルギーとつながる感覚が生まれます。

まるで、あなたの作品が“聖なる物語”の一部になるような——。

そんな神秘と敬意を込めて描く曼荼羅は、特別な存在になるでしょう。

● 観音、如来、薬師、菩薩

仏教の世界では、曼荼羅そのものが私たちの宇宙（曼荼羅世界）を表したものとされています。

- 観音菩薩：慈悲と癒しの象徴。人々の苦しみに耳を傾け、救いを与える存在
- 阿弥陀如来：無限の光と命をもたらす仏。安心と信頼を与えてくれる
- 薬師如来：病や苦しみを癒す力を持ち、心身の健康を導く仏
- 菩薩：悟りへの道を歩みながらも、人々を助ける慈愛の存在

これらの仏を曼荼羅の中心や象徴として描くことで、祈り・癒し・導きのエネルギーが強くなります。

● チベット法具、マヤ暦、ケルト模様

異文化に根ざした神聖なシンボルも、曼荼羅に深い意味をもたらします。

- チベット法具（バジュラ、ベルなど）：智慧と慈悲の統合、浄化と覚醒のエネルギー
- マヤ暦のシンボル：宇宙の時間とつながる、自然との調和、生命のサイクル
- ケルト模様（ケルティックノット）：永遠性・魂のつながり・自然との一体感を表す繊細な線の絡み合い

これらの文化的モチーフは、曼荼羅にストーリー性と異国の神秘的な雰囲気を加えてくれます。

● 北欧ルーン、エジプトのシンボル

古代文字や魔術的シンボルも、曼荼羅のパターンに込めることで、

護符のような役割を果たします。

- 北欧ルーン文字：自然の力、神々との交信、願いや意志を込めた象徴文字
- エジプトのシンボル（アンク、ホルスの目など）：生命力、保護、直感、霊的覚醒

一文字でも強力な意味を持つため、曼荼羅の中心や周囲に配置することで、力強い印象になります。

● ドリームキャッチャー、四神(青龍・白虎・朱雀・玄武)

- ドリームキャッチャー：ネイティブアメリカンの伝統で、悪夢を浄化し、良い夢だけを残す守護のお守り
- 四神（しじん）：東洋の方位と自然を司る霊獣。
- 青龍（東）＝始まり、成長
- 白虎（西）＝守護、浄化
- 朱雀（南）＝情熱、再生
- 玄武（北）＝安定、持久力

これらのモチーフは、「守られている」「導かれている」という安心感をもたらし、

曼荼羅に神聖な守護のエネルギーを与えます。





第5章：動物・スピリットアニマル

動物は古代から、人間の内面や魂を映し出す「象徴」として扱われてきました。曼荼羅に動物モチーフを描くことは、自分の本質や直感、守護のエネルギーとつながることであります。

描くたびに、あなたの中に眠る力や資質が目覚めていく——
そんな曼荼羅を創りたいとき、スピリットアニマルのモチーフは心強い味方になります。

● フクロウ(知恵・直感)

静かにすべてを見通すようなフクロウは、叡智と内なる直感の象徴。闇の中でも道を見つけ出す力を持ち、見えない真実を読み解くサポートをしてくれます。

「何か大切な答えに近づきたい」と感じるとき、曼荼羅の中心にフクロウのイメージを描いてみましょう。

● 蝶(変容・再生)

蝶は“変化と成長”を象徴する代表的なスピリチュアルアニマル。サナギから羽ばたく姿は、魂の進化や生まれ変わりを表しています。

人生の転換期、新しい自分を迎えたいときにぴったりのモチーフです。

● 虎(勇気・パワー)

力強さと野生的なエネルギーを放つ虎は、行動力・集中力・自己信頼の象徴。「恐れを乗り越えたい」「自分を信じて進みたい」というとき、虎のエネルギーが後押ししてくれるでしょう。

曼荼羅に描くことで、内なる“戦士”のような力を呼び覚まします。

● 鳳凰、龍、クジラ、猫

その他にも、ユニークでパワフルな動物モチーフがあります。

- 鳳凰 (ほうおう) : 再生、浄化、魂の復活。華やかで神聖な存在
- 龍 : 大いなる流れ、宇宙のエネルギー、守護と変容
- クジラ : 深い感情、宇宙との共鳴、母なる存在
- 猫 : 自由、自立、ミステリアスな魅力としなやかさ
- カメ : 長寿、安定、ゆっくりとした確実な前進
- ハチドリ : 喜び、愛、美しい瞬間に気づく感性
- 鹿 : やさしさ、繊細さ、自然との調和
- オオカミ : 直感、群れとのつながり、リーダーシップ
- ペガサスやユニコーン (想像上の動物) : 夢、癒し、神秘の世界との架け橋

これらは、心の状態や願いによって選び分けることができます。





第6章：感情・意図・願いのモチーフ

曼荼羅はただの模様ではなく、「今の気持ち」や「これから叶えたい願い」を表現するアートです。

どんな感情を抱えているのか。何を大切にしたいのか——

それをモチーフとして曼荼羅に込めることで、自分自身の心と深く向き合う時間になります。

感情や願いは目に見えませんが、色や形で表現することで、自然と癒されたり、
前向きなエネルギーが生まれたりします。

● 愛、感謝、平和、喜び

これらは「高い波動」を持つ感情であり、曼荼羅の中でも特にポジティブなエネルギーを発するテーマです。

- 愛 (Love) : ハート、ピンク系の色、やさしい曲線
- 感謝 (Gratitude) : 花束のような形、光のモチーフ
- 平和 (Peace) : 円、鳩、オリーブ、空に広がるイメージ
- 喜び (Joy) : 太陽、星、跳ねるような形、明るい色合い

これらのテーマを中心に曼荼羅を描くと、自分の内側から“満たされる感覚”が広がります。

● アファメーションの言葉をモチーフに

アファメーションとは、「自分に対する肯定的な言葉・宣言」のことです。

たとえば…

- 「私は愛される価値がある」
- 「私はありのままで輝いている」
- 「私は毎日、自由に豊か」

このような言葉を文字や象徴で曼荼羅に取り入れることで、願いや思考が形となって心に定着しやすくなります。

中心に言葉を入れたり、文字を模様のように配置しても素敵です。

● 願いごと・未来のビジョンを象徴で表す

「〇〇になりたい」「こんな未来を創りたい」という願いがあるとき、それを象徴的なモチーフで表現する方法もあります。

たとえば…

- 「人間関係を良くしたい」 → 輪・ハート・手をつなぐ模様
- 「仕事で成功したい」 → 上昇する三角形・太陽・星
- 「健康になりたい」 → 緑の葉・循環・水の流れ
- 「自由になりたい」 → 羽根・風・鳥・空

モチーフは“自分だけのシンボル”でOK。自由に解釈して描いてみましょう。





第6章：感情・意図・願いのモチーフ

● 感情を色や形で表現する

言葉にできない感情も、色や形なら自然に表現できます。

たとえば…

- 怒り → 赤、鋭い線、燃えるような形
- 悲しみ → 青、しずく、波打つ曲線
- 喜び → 黄色、はじけるような点、星や光
- 落ち着き → 緑、丸い形、繰り返しのリズム

自分の感情を否定せず、そのまま受け入れて描くことで、曼荼羅が心の浄化装置のように働いてくれます。





第7章：現代的&自由な発想のモチーフ

曼荼羅には「こうしなければならない」というルールはありません。
だからこそ、あなたの自由な発想や日常のひらめきが、そのまま素敵なモチーフになります。
心のままに描く。

今ここで感じたことを、色や形にしてみる。

そんな自由な曼荼羅アートには、“今のあなた”しか表現できない唯一無二の魅力があります。

● 人物シルエット(ヨガポーズなど)

曼荼羅の中に人物のシルエットを描くと、「内なる自分」や「理想の姿」を象徴することができます。
特にヨガのポーズ（アーサナ）は、精神と身体の調和や集中力を象徴する美しい形です。

- 蓮華座（瞑想のポーズ）→ 静けさと内省
- 山のポーズ（タダーサナ）→ 自信と安定
- 両手を広げたポーズ → 解放と自己受容

曼荼羅の中心や重心に人物を配置することで、自分とのつながりを感じられるアートになります。

● 音波・振動・リズム

目に見えない音や波動も、曼荼羅で表現できます。

- 波のような線
- 放射状に広がる円
- 点や線を繰り返すパターン

音楽を聴きながらリズムに合わせて描くと、無意識との対話が深まり、自然と心が整っていくことも。

「この音を曼荼羅にしたらどんな形？」という遊び心も大切にしてみてください。

● 色のグラデーションや感覚的なライン

グラデーションや流れるような曲線は、感情や気分を表す自由なモチーフです。

- あたたかなグラデーション → 喜び・希望
- クールなブルーの濃淡 → 静寂・深い思索
- 虹色のライン → 可能性・創造性・多様性

“正確に描く”ことよりも、“心の流れを感じる”ことを大切にすると、描くたびに新しい自分に出会えます。

● 日常のアイテムを抽象化する

たとえば、こんなものも曼荼羅のモチーフにできます：

- カップやお皿 → 受け取る器・豊かさ
- 窓 → 世界とのつながり・視野を広げる
- 鍵・時計・本 → 人生の秘密・時間・知恵

日常の中にあるものを“象徴”として再解釈することで、
曼荼羅がより個人的でストーリーのあるアートになります。





第7章：現代的&自由な発想のモチーフ

● マインドマップ風曼荼羅

曼荼羅の放射状の構造を使って、思考や夢、目標を書き出す曼荼羅もおすすめです。

- 中心に「自分の名前」や「テーマ」を置き
- 外側に思いついた言葉やビジョンを描いていく

「思考整理」「ビジュアルジャーナル」「未来の設計図」としても活用できます。
アートとノートがひとつになる、現代的な曼荼羅の楽しみ方です。





第8章：護符・守りのモチーフ

曼荼羅は古くから、「神聖な結界」や「エネルギーを封じる器」として使われてきました。

そこにモチーフを込めることで、作品そのものがお守りや護符のように、

描く人・見る人の心と空間を守る力を持つようになります。

あなた自身や大切な人への“祈り”を込めて描く曼荼羅に、ぜひ取り入れてほしいモチーフたちです。

● ナザールボンジュウ(青い目のお守り)

トルコや中東地域で古くから使われてきた、「邪視（邪悪な視線）」を跳ね返す目のお守り。

青い円形の中に瞳が描かれたデザインは、見つめ返すような強い守護のエネルギーを放ちます。

曼荼羅の中心や四隅に取り入れることで、空間全体を守るような安心感を生み出します。

● ホルス目・第三の目(神の視線)

エジプト神話のホルスの目（ウジャト）は、再生・直感・魔除けの象徴。

目は「すべてを見通す」「真実を見抜く」存在でもあり、心の目・霊的な覚醒を表すモチーフです。

マンデラに描くと、内面と外界の両方を守るシールドのように働きます。

● ホルス目・第三の目(神の視線)

エジプト神話のホルスの目（ウジャト）は、再生・直感・魔除けの象徴。

目は「すべてを見通す」「真実を見抜く」存在でもあり、心の目・霊的な覚醒を表すモチーフです。

マンデラに描くと、内面と外界の両方を守るシールドのように働きます。

● シジル(個人の願いを込めた図形)

「シジル」は、自分の願いごとを文字から図形に変換した魔法的なシンボル。

誰にもわからない形にすることで、願いが潜在意識に浸透しやすくなるといわれています。

曼荼羅の中心にこっそり込めたり、模様の一部に混ぜ込むことで、あなただけの秘密の護符が生まれます。

● タリスマン・アミュレット(幸運を呼ぶ印)

「タリスマン」は特定の目的のために作られるお守り（幸運・成功・浄化など）、

「アミュレット」は主に魔除けや保護を目的とするシンボルです。

曼荼羅の外周に配置したり、四隅に記すことで、**結界のような構造が整い、祈りの力を高める**ことができます。





第8章：護符・守りのモチーフ

曼荼羅は古くから、「神聖な結界」や「エネルギーを封じる器」として使われてきました。

そこにモチーフを込めることで、作品そのものがお守りや護符のように、

描く人・見る人の心と空間を守る力を持つようになります。

あなた自身や大切な人への“祈り”を込めて描く曼荼羅に、ぜひ取り入れてほしいモチーフたちです。

● 四神(青龍・白虎・朱雀・玄武)

東洋の風水や神話に登場する、四つの守護獣。

- 青龍（東）：始まり・創造の力
- 白虎（西）：強い守護・正義・純粹さ
- 朱雀（南）：炎・変化・情熱・飛躍
- 玄武（北）：大地・安定・持久力・信頼

曼荼羅の四隅にそれぞれのエネルギーを配置すると、強力な保護フィールドが完成します。

● 天使・精霊・光の存在

目に見えない存在たち——

たとえば、守護天使・光の精霊・ハイヤービーイングを曼荼羅のイメージとして描くことで、「いつも見守られている」という安心感が広がります。

羽根、光の輪、輝き、透明感のある模様などを使って、**優しく包まれるような曼荼羅**にしてみよう。





第9章：チャクラのモチーフ

チャクラとは、身体と心、魂のエネルギーセンター。

インドの伝統においては、背骨に沿って7つのチャクラが存在するとされ、

それぞれが特定の色・象徴・感情・テーマと結びついています。

曼荼羅にチャクラをモチーフとして取り入れると、心身のバランスを整えるヒーリングアートになります。

色や形に意味を込めることで、視覚的にもエネルギー的にも奥行きのある曼荼羅に仕上がります。

● 第1チャクラ(ルートチャクラ)

- 場所：尾てい骨
- 色：赤
- キーワード：安定・グラウンディング・生命力
- モチーフ例：大地、根、四角形、重厚な模様

● 第2チャクラ(セクラルチャクラ)

- 場所：丹田（へその下）
- 色：オレンジ
- キーワード：創造性・感情・官能・喜び
- モチーフ例：水、しずく、月、流れる曲線

● 第3チャクラ(ソーラープレクサスチャクラ)

- 場所：みぞおち
- 色：黄色
- キーワード：自己価値・意志・パワー・自信
- モチーフ例：太陽、星、炎、光の放射

● 第4チャクラ(ハートチャクラ)

- 場所：胸の中心
- 色：緑（またはピンク）
- キーワード：愛・思いやり・調和・癒し
- モチーフ例：ハート、羽根、花、やさしい曲線

● 第5チャクラ(スロートチャクラ)

- 場所：喉
- 色：青
- キーワード：表現・真実・コミュニケーション
- モチーフ例：波、風、音、リング状の模様





第9章：チャクラのモチーフ

チャクラとは、身体と心、魂のエネルギーセンター。

インドの伝統においては、背骨に沿って7つのチャクラが存在するとされ、

それぞれが特定の色・象徴・感情・テーマと結びついています。

曼荼羅にチャクラをモチーフとして取り入れると、心身のバランスを整えるヒーリングアートになります。

色や形に意味を込めることで、視覚的にもエネルギー的にも奥行きのある曼荼羅に仕上がります。

● 第6チャクラ(サードアイチャクラ)

- 場所：眉間
- 色：藍（インディゴ）
- キーワード：直感・洞察・ビジョン・精神性
- モチーフ例：目、星、宇宙、幾何学模様

● 第7チャクラ(クラウンチャクラ)

- 場所：頭頂部
- 色：紫（または白）
- キーワード：覚醒・高次の意識・宇宙とのつながり
- モチーフ例：蓮の花、光、円形、放射状の図形

チャクラの色やテーマに合わせて曼荼羅を一つずつ描いていくと、

自分の内面の状態に気づくプロセスになります。

7つすべてのチャクラをテーマにした曼荼羅セットを作るのも、とてもおすすめです





おわりに

曼荼羅とは、
ただの模様ではなく、内なる宇宙を表すアートです。
そこにどんなモチーフを選ぶかによって、
あなたの意図・願い・祈りが形になっていきます。

この資料でご紹介したモチーフは、
すべてあなたの心とつながるためのヒントです。
静かに、やさしく、楽しみながら——
ときに感情と向き合い、
ときに未来を想像しながら、
自分だけの曼荼羅を描いてみてください。

描いた曼荼羅は、
今のあなた自身の鏡であり、お守りであり、
メッセージです。

どんな色も、どんな形も、どんなテーマも正解。
あなた今感じたことが、最高のモチーフになるのです。

この小さな図鑑が、
あなたの曼荼羅アートの旅にそっと寄り添う一冊になりますように。

心をこめて。
曼荼羅を愛するすべての人へ。

